

クリーベジ法（ドラフト内で作業を行って下さい）

1. 合成後のカラムを、遠心用チューブにしっかりとセットする。
このとき穴あき蓋を堅く閉め、チューブ内を機密状態にする。
2. 1.3~2.0mlのTFAクリーベジカクテル(Reagent K)を加える。
(ゴム手袋使用)

Reagent K: 82.5%TFA, 5%Water, 5%Phenol, 5%Thioanisole,
(要冷蔵) 2.5%Ethanedithiol

3. ピストンを取り付け、30分ごとにゆっくり手で攪拌しながら2時間おく。
(ゲル状が液状になるまで攪拌する。)
4. 穴あき蓋を少し緩め、ピストンでカラム内液を遠心用チューブに落とす。
5. ピストンを取り除き、カラムにエーテルを2ml程度加えレジンを洗浄し、
遠心用チューブに落とす。
6. カラムをはずし、穴のあいていない蓋に交換する。
7. 遠心用チューブに、9分程度冷エーテルを加え蓋を閉め攪拌する。
8. 3000rpm, 5minで遠心し、析出したペプチドの沈殿を残し上清を除く。
9. ペプチドを攪拌しながら、7~8を3回繰り返す。
10. ドラフト内で乾燥させる。

